

仙台・生出のご当地キャラ

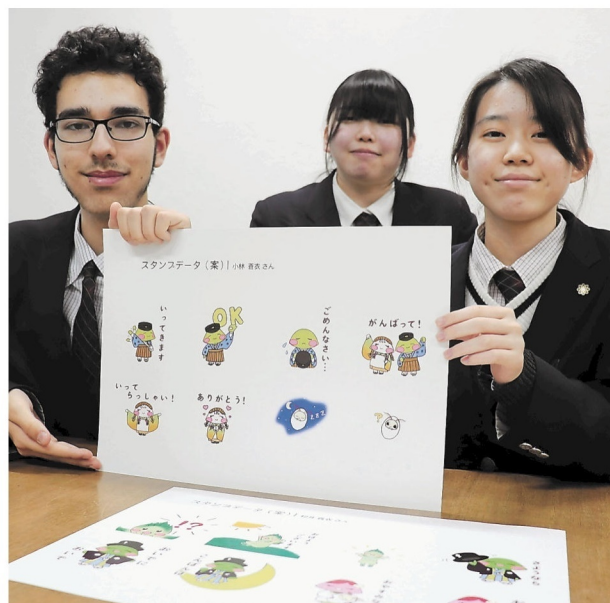
「おいでもん」LINEスタンプに

仙台城南高(仙台市太白区)美術デザイン部の有志4人が、太白区生田地区のご当地キャラクター「おいでもん」を使い、無料通信アプリLINE(ライン)のスタンプを作成した。依頼した生田地区まちづくり委員会が5月23日に発売した。



おいでもんや妻、娘の綿ちゃんらのイラストに「おはようございます」「ありがとう」といった言葉を添えた16種類。明るい色を使って表情豊かに仕上げた。おいでもんは旧生田村の初代村長の長尾四郎右衛門がモデルで、太白山をかたどった顔が特徴のキャラクター。地元の高校生が考案し、地区の乗り合いタクシーなどに使用されている。まちづくり委員会は地区を盛り上げる話題づくりのため、昨夏、美術デザイン部にスタンプ作成を依頼。「誰もが使いたくなるデザイン」にしようと、生徒たちと打ち合わせを重ねた。2年小林蒼衣さん(16)は

仙台城南高生 16種類作成



スタンプを作成した美術デザイン部の生徒たち

「着物を描くのが難しかった」と振り返り、3年松井真衣さん(17)は「生田を訪れるきっかけになればうれしい」と感謝した。副委員長(58)は「親しみやすいスタンプで、ありがたい」とPRした。太田孝